麻しん（はしか）の予防接種について

麻しん（はしか）は、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。

学生が麻しんに罹患した場合、他の学生への感染拡大のリスクが高く、自宅療養や入院など行動が制限され、大学生活に支障が生じます。また、成人が罹患した場合、症状が重くなる傾向があると言われています。

麻しんは空気感染するため、手洗い、マスクのみで予防はできません。よって、麻しんの予防接種が最も有効な予防法であり、十分な免疫をつけるためには 2 回の接種が必要と言われています。平成１2 年 4 月 2 日以降に生まれた方は、定期接種として 2 回の麻しん含有ワクチンを受ける機会がありますが、様々な事情でワクチン接種をされていない方もいるかもしれません。麻しんに罹ったことがなく、2 回の予防接種を受ける機会がなかった方は、入学後の学生生活に支障が生じることのないよう、入学前に予防接種についてご検討ください。

なお、入学式で配布される封筒内に「健康診断問診票」が入っておりますが、麻しんに関する問診欄があります。 麻しんに罹った経験の有無、予防接種の回数について、可能な範囲で事前にご確認のほどよろしくお願いいたします。

医務室